



「今日が楽しく明日が待たれる学校」



納戸の隅に折から一挺の大鎌あり

汝が意思をまぐるなといふが如くに 若山牧水

この歌は、文学を続けるかそれとも故郷で就職をするか深く悩んだ牧水が、生家の納戸に掛かっていた大鎌に自らの心情をかけて歌った作品です。「おまえの意志を曲げるな」と言われているようで、私自身、背筋がしゃんと伸びる思いのする歌です。

見えないものの価値をも大切に「無月」の心

今年の仲秋の名月の何と見事だったことか。秋の風物詩である「月見」は元来、その年の満月(中秋の名月)を愛でる行事です。この行事は、古来、月が見える場所に、すすきを飾り、月見団子や里芋、お神酒などをお供えて月を愛でるものです。この時期がちょうど、その年の作物の収穫を終えた時期と重なり、収穫への感謝の行事を意味するものです。



しかし、大切な「月見」の行事も、空が晴れて美しい満月が見られるとは限りません。日本人の優れた風流感覚は、見えない月を「無月」と呼び、たとえ月が見えなくても、その時の状況や雰囲気から月そのものの姿を捉え、味わい深く「詫び、寂び」を楽しんできました。

私たちは日常、様々なものを見、耳で聞き、鼻でかぎ、舌で味わい、指先で感触を確かめますが、外に表せないもの、あるいは裏側にある奥深い意味、そんなことを「無月」という言葉は気づかせてくれます。まさに、「見えないものの価値」と言えるでしょう。相手に伝わるコミュニケーションの方法は、言語を使つての手段が3割、言語を使わない手段が7割といひます。伝え手の瞳や動作、表情、醸し出す雰囲気が、その人の意思を伝える度合いが高いということです。言葉の大切さはもちろんです。コロナ禍にあってマスクで表情がわかりにくかったり、コミュニケーションが不足しがちだったりする状況だからこそ、言葉に表れない「見えないものの価値」、その人の悲しみだったり、辛さだったり、いわば「心」や「思い」をも大切にしたいと思ひます。

「チーム油中」で行う特別の教科「道徳」は、誇れる取組です！

本校では、昨年度から学年職員で道徳の授業を行っています。これまで、学級担任が担当していた授業を、道徳の教科化を機に、学年職員によるローテーションで取り組んでいます。

この取組の最大の良さは、人間としてよりよく生きようとする道徳性を、生徒が複数の教師から学べるということです。生徒は、「いろいろな先生の体験談が聞ける。」「先生方との関わりが深まる。」「テーマを十分理解して授業がされているから分かりやすい。」等、肯定的に評価しています。また、「道徳の授業が好きである」と答えた生徒は 92%おり、「自分と異なる価値観をもつ人の話や意見が聞ける。」「たくさん考えることができる。」「正解がないのでしっかり意見を言える。」「世の中で大切なことを学べる。」等の理由を挙げています。私たちの予想以上に、道徳における学びが大きいことが分かります。



本校のローテーション授業は、子どもたちの道徳性を高める効果的な実践といえます。今後も「チーム油中」の取組の一環として道徳の授業を行い、言葉に表れない「見えないものの価値」を意識しながら、「心」や「思い」を大切にしたいと思ひます。

10/4 第74回油津中学校体育大会を開催しました！



感染症予防対策や熱中症対策に努めながら、生徒は短い時間の中で最善を尽くして体育大会をやり遂げました。「半日開催でも、十分見応えがある感動的な体育大会でしたね！」とは、PTA 役員さん方の感想です。躍動感あふれるスピーディーなプログラムの展開は、競技する側の充実感を感じさせるとともに、見る側を終始飽きさせないものでした。

大会の大役を担った実行委員長(山本翔也さん)や団長(後藤空良さん・和場大輝さん)は、自身が得たものや学んだことを次のように振り返っています。

山本さん：想像以上に実行委員長の責任は重大でしたが、味わった達成感は格別でした。人前に立つことで、自分の何気ない言動を見直し、礼儀を尽くす意味についても考えました。

後藤さん：リーダーが率先して行動しなければ周りは付いてこないことを実感しました。また、人をやる気にする言葉掛けも大事です。先々を見て行動していきたいと思います。

和場さん：ライバルと切磋琢磨することで成長できた経験は貴重です。今までとは違った感動を味わうことができました。目的達成のためには、準備が大切であることを学びました。

今年の体育大会は、生徒の満足度が高く、準備時間の短縮や生徒の負担軽減なども図られ、良いことが多々ありました。油中体育大会の新たな伝統を生むきっかけになりそうです。

9/19・20 南那珂地区中学校秋季体育大会が開催されました。

南那珂地区中学校秋季体育大会は、県大会で3年生をしっかり支えた1・2年が新チームで挑んだ大会です。1年生のみのチームや不足した人数で戦うチーム、経験者が多いチームなど、様々な状況がありましたが、どんな時にも諦めない折れない気持ちで、どの部活動も精一杯戦いました。選手の健闘や試合中の成長を見聞きするたびに、部活動の最大の目的は、人間形成であることを実感します。生徒の成長は、保護者と教師共通の喜びです。

今日の結果は、昨日までの努力の成果です。勝っても負けても、今日から始まる努力が次の結果につながります。地区大会の結果は次のとおりでした。

野球部 (1日) 対北郷 **4-0**
(2日) 対吾田 **5-3** 対饒肥 **4-0** **優勝**
サッカー部 (1日) 対南郷 **0-2** (2日) 対串間 **29-0**
男子バスケットボール部 (1日) 対南郷 **66-58** 対串間 **100-18**
(2日) 対饒肥 **69-23** **3位**
女子バスケットボール部 (1日) 対串間 **87-69**
(2日) 対饒肥 **57-67** **準優勝**
男子テニス部 (1日) 対吾田 **0-3**
(2日) 個人戦 全ペア初戦敗退
女子テニス部 (1日) 対饒肥 **1-2**
(2日) 個人戦 熊本・吉田ペア **ベスト8**
他ペア2回戦までで敗退



学校玄関に優勝旗を飾りました。平成20・24年度の優勝ペナントに今回のペナントが加わります。野球部の優勝は、油津中学校全員の誇りです。

※ 野球部、女子バスケットボール部、女子テニス部(個人)が、県大会に出場します。

【第63回 南那珂地区英語暗唱・弁論大会(暗唱の部)】

3年釈迦郡童夢さんが、地区の精鋭21名のハイレベルな発表の中、見事「優秀賞」を獲得！ たゆまぬ努力が、素晴らしい結果につながりました。



【11月の主な行事予定】

- 11月1日(日)～2日(月) 県大会(バスケットボール)
- 11月5日(木) 生徒会立ち会い演説会・選挙
- 11月6日(金) 漢字検定
- 11月7日(日)～9(月) 県大会(野球・テニス)
- 11月11日(水) 県英テスト(1年)
- 11月13日(金) 南郷大島ミュージアム(3年)、遠足(1年)
- 11月17日(火) 入試制度説明会(3年)
- 11月19日(木) 期末テスト
- 11月20日(金) 期末テスト、鑑賞教室
- 11月26日(木) 生徒会退任式・任命式

